

授 業 科 目 名	必修・ 選択別	単位数	対象 学年	学 期	曜・限	担 当 教 員
消化器コース	必修	4	3	1	月～金	水上一弘 (消化器内科) 猪股雅史 (消化器・小児外科)

【科目名の英文】 Digestive Organs

【授業の概要・到達目標】

消化器系の正常構造と機能を理解し、主な消化器系疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。

具体的な到達目標	医学科ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. 消化器系の構造と機能を理解できる	○					
2. 消化器系疾患の症候・病態生理を理解できる	○					
3. 消化器系疾患に対する検査と適切な診断ができる			○			
4. 消化器系疾患の適切な治療について説明できる				○		
5. 消化器疾患の最新のトピックスについて学習することができる						○
6. グループ学習を通じて要点を整理し、発表することができる		○				

【授業の内容】

回数	授業項目	授業内容	担当講座・教員	方法
1	胃癌	胃癌の疫学と予防	水上, 消内	講義
2	消化器外科総論	消化器外科の温故知新	猪股, 消外	講義
3	胃疾患	胃癌の診断、治療法	衛藤, グローカル	講義
4	局所解剖 (1)	消化管の外科局所解剖	赤木, 消外	講義
5	画像診断 (1)	放射線診断基礎	浅山, 放射	講義
6	上部消化管	上部消化管の内科的治療	福田, 消内	講義
7	下部消化管疾患	下部消化管疾患の疫学、診断、治療	小坂, 消内	講義
8	ヘリコバクター感染症	ヘリコバクター感染症の現状	兒玉, 消内	講義
9	画像診断 (2)	腹部救急の画像診断	島田, 放射	講義
10	画像診断 (3)	消化管の画像診断	浅山, 放射	講義
11	画像診断 (4)	腹膜の画像診断	本郷, 放射	講義
12	消化性潰瘍	消化性潰瘍の疫学、診断、治療	小川, 消内	講義
13	急性腹症	内科から見た急性腹症	水上, 消内	講義
14	肥満外科治療	肥満外科治療の現状	遠藤, 消外	講義
15	大腸・小腸疾患 (外科)	大腸・小腸疾患の疫学、診断、治療	白下, 消外	講義
16	ヘルニア	ヘルニアの診断と治療	河野, 消外	講義
17	術後合併症管理	術後合併症の診断と治療	板井, 消外	講義
18	小腸疾患 (内科)	内科から見た小腸疾患	堤, 消内	講義
19	急性腹症	外科から見た急性腹症	上田, 消外	講義
20	内科学習発表	グループごとの学習発表会	遠藤, 消内	発表会
21	局所解剖 (2)	肝胆膵の外科局所解剖	遠藤, 消外	講義
22	消化管感染症	細菌性消化管感染症	三室, グローカル	講義
23	消化管感染症	ウイルス性消化管感染症	河本, グローカル	講義
24	寄生虫病	消化器寄生性寄生虫病	小林, 感染予防医学	講義
25	胆道疾患	胆嚢炎、胆管炎	佐上, 消内	講義
26	門脈圧亢進症・脾疾患	門脈圧亢進症および脾疾患の診断と治療	平下, 消外	講義
27	膵臓疾患 (1)	膵癌、膵炎	福田, 消内	講義
28	膵臓疾患 (2)	膵癌の診断と外科治療	平下, 消外	講義
29	食道疾患	食道疾患の疫学、診断、治療	柴田, 消外	講義
30	小児外科 (1)	小児良性腫瘍	小川, 消外	講義
31	胆道疾患	悪性胆道疾患の診断と治療	増田, 消外	講義

32	肝臓 (1)	肝総論、急性肝炎	遠藤, 消内	講義
33	胆石症	胆石症の診断と治療	高山, 消外	講義
34	小児外科 (2)	小児悪性腫瘍	小川, 消外	講義
35	外科学習発表	グループごとの学習発表会	二宮, 消外	発表会
36	肝臓 (2)	肝機能検査の読み方	遠藤, 消内	講義
37	肝疾患 (1)	肝硬変、自己免疫肝疾患	荒川, 消内	講義
38	内視鏡外科	内視鏡外科の現状と展望	二宮, 消外	講義
39	肝疾患 (2)	肝腫瘍、肝癌内科的治療	岩尾, 消内	講義
40	肝疾患 (3)	転移性肝腫瘍	高山, 消外	講義
41	画像診断 (5)	肝・胆・膵の画像診断	浅山, 放射	講義
42	外傷	外傷外科、腹部救急の診断と治療	平塚, 消外	講義
43	臨床試験	臨床試験概論	河野, 消外	講義
44	肝疾患 (4)	NASH、アルコールと肝疾患	得丸, 消内	講義
45	肝炎	B型肝炎、C型肝炎	内田, 消内	講義
46	外科基本手技	縫合・結紮と創傷治癒	薮, 消外	講義
47	放射線治療	放射線治療基礎	板谷, 放射	講義
48	肝疾患(5)	肝細胞癌の外科治療	増田, 消外	講義
49	肝疾患 (6)	黄疸、ビリルビン代謝、遺伝性肝疾患	岩尾, 消内	講義
50	小児外科 (3)	特別講義	慶応義塾大学、藤野 明浩先生	講義
51	消化器外科	特別講義	ぼたん園、佐藤裕先 生	講義

<b>【アクティブラーニングの内容】</b> 学習発表会で担当者全員が必ずプレゼンを行う。学生同士でディスカッションを行い、主体的な学びの場とする。	<b>【その他の工夫】</b> 動画を使用するなどし、理解しやすい講義をこころがける。
---	--

<b>【時間外学修の内容と時間の目安】</b>	
準備学修	配布資料や該当する講義内容を予習する (2時間 x 49講義=98時間)
事後学修	授業内容を配布資料等で復習する (1時間 x 49講義=98時間)

**【教科書】**  
教科書は指定しない (Moodle で資料を提示する)

**【参考書】**  
矢崎義雄ほか、朝倉内科学(12版)、朝倉書店、2022年 ISBN : 978-4-254-32280-4  
北野正剛ほか、標準外科学(16版)、医学書院、2022年 ISBN : 978-4-260-04782-1

**【成績評価方法及び評価の割合】**  
授業時間の2/3以上の出席がなければ、受験資格を与えない。コースの最後に筆記試験を行い、その結果と日頃の授業態度を総合的に判断して合否を決定する。総合的に60%の得点で合格とする。

**【注意事項】**

**【備考】**  
最終時間割はコース前に配布する。

リンク	URL	<a href="https://core-curriculum.jp/x/L0HrqK1BT9iq5BxINfN7GQ">https://core-curriculum.jp/x/L0HrqK1BT9iq5BxINfN7GQ</a> <a href="https://core-curriculum.jp/x/JPBoc2WWTNWcbCth0FrwcA">https://core-curriculum.jp/x/JPBoc2WWTNWcbCth0FrwcA</a>
	教員の実務経験の有無	○
教員の実務経験	医師	

教員以外で指導に関わる実務経験者の有無		
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容	臨床医として経験した実際の症例などを提示し、教育に生かしている。	
授業形態	対面授業	